

福祉総合支援センターを中核に据えた重層的支援体制の整備

事業の目標・目指す地域のすがた

【みんなの絆と“地域の力”で育む心豊かなまち】～地域共生社会の実現～

少子高齢化、人口流出、過疎化が進み、人と人とのつながりが希薄化して地域を支える担い手が減少するなか、
「**地域の問題解決に向けて一人ひとりができる役割を担い、
支え合いながら心豊かに暮らしていける伊勢市**」を目指す。

【市の概要】

人口 121,032人
世帯数 56,258世帯
高齢化率 32.75%
面積 208.37km²
(令和5年6月末日現在推計)



伊勢市観光PRキャラクター「はなてらすちゃん」

取組の経過

- 平成29年度～「生活サポートセンターあゆみ」を設置し、生活の困りごとに関する相談支援を実施
- 令和3年度～「重層的支援体制整備事業」を開始
→事業の中核を担う組織として、健康福祉部内に「福祉生活相談センター」を新設
「多機関協働事業(直営)」「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業(委託)」「参加支援事業(委託)」
- 令和5年度～「高齢・障がい・子ども・生活困窮・地域福祉」の相談窓口を一元化した「福祉総合支援センター」を設置(福祉生活相談センターから機能を強化)

